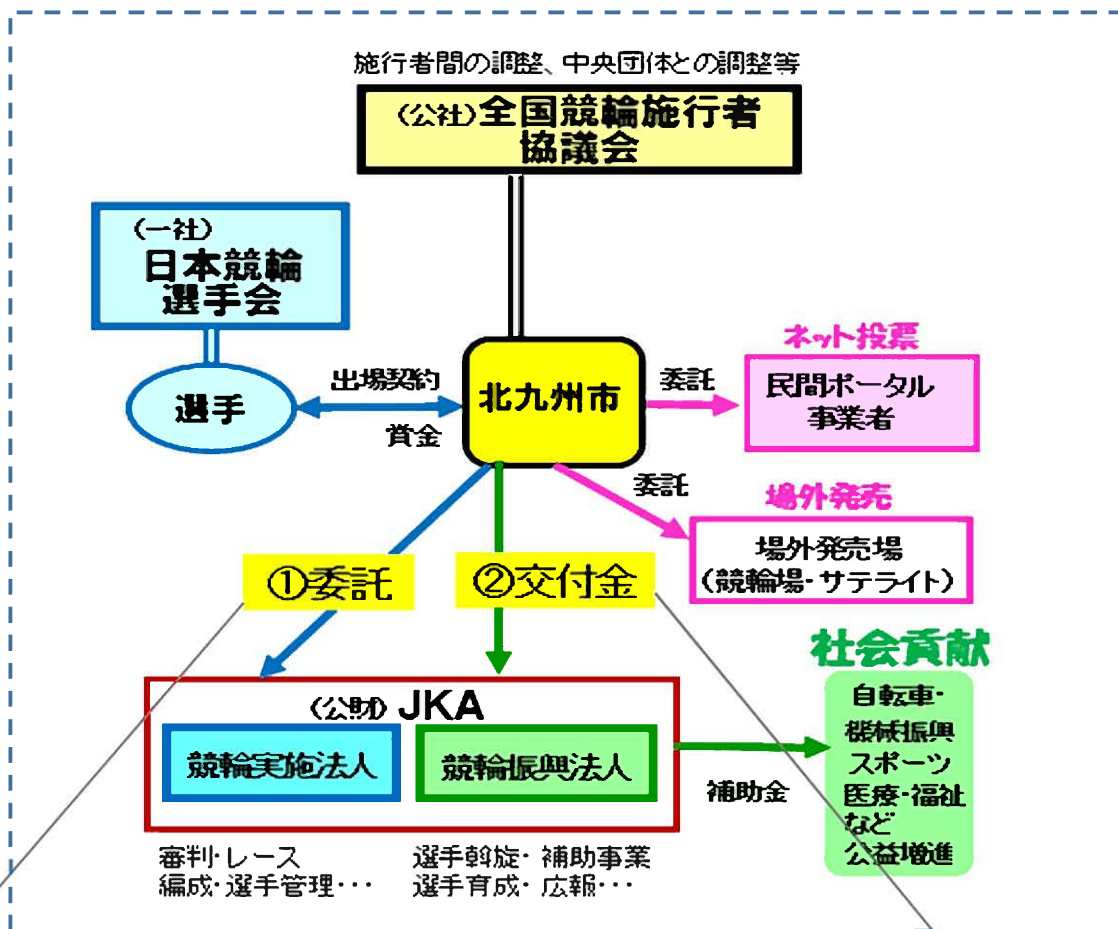


公益財団法人 J K A と本市との関係性について

1 公益財団法人 J K A ※の概要 ※「Japan Keirin Autorace foundation」の略
 自転車競技法に基づき、以下の指定を受けている

指定	【業務内容】
競技実施法人	・審判・検車・番組編成など競技の実施
競輪振興法人	・自転車等機械工業の振興、選手の出場斡旋・養成・訓練 ・体育事業等に対する補助 ・競輪の選手・審判員や自転車の登録 ・競輪の実施方法の制定

2 競走の実施体制における J K A と本市との関係



① 競技実施法人である JKA に
 競技関係の実施事務を委託
 ・委託内容：検車、審判、選手の斡旋等競技全般
 ・R4 年度実績：315 百万円

② 競輪振興法人である JKA に
 交付金を交付
 ・R4 年度実績：847 百万円

公益財団法人 J K A の補助事業について

1 補助事業の概要

公益財団法人 JKA は、競輪・オートレースの売上金の一部で、社会的課題の解決に取り組む活動を支援する補助事業（機械振興事業及び公益振興事業）を行っている。

主な補助対象は、財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO 法人及び大学等研究機関などである。

2 本市における J K A の補助事業周知方法

- (1) 市民活動サポートセンターホームページで補助事業案内
- (2) 公営競技局地域貢献室から市内大学等へ DM で補助事業案内
- (3) 公営競技局ホームページ「地域貢献室」画面からリンク情報提供
- (4) 小倉競輪場内でポスターやチラシを掲示
- (5) J K A 主催で年に数カ所地方に出向き福祉施設等を集めて説明会を実施
※本市では令和 3 年 8 月に小倉競輪場で実施

3 J K A の補助事業の本市採択実績（令和 4 年度）

	団 体 名	補 助 事 業	金額(千円)
1	(社福) 薫会	福祉機器の整備(特殊浴槽)	797
2	(社福) 風花会	〃 (モジュール型車いす)	1,437
3	(社福) 宏隆会	〃 (特殊浴槽)	3,770
4	(社福) 青雲会	〃 (特殊浴槽)	3,207
5	(社福) 双葉会	〃 (特殊浴槽)	3,948
6	(社福) 容風会	〃 (特殊浴槽)	6,081
7	九工大工学部マテリアル工学科ナノ構造解析学研究室	高エネルギー照射場における複合酸化物の損傷過程と安定性補助事業	5,000
8	九工大大学院工学研究院	テーパードアウト型流動層による有機物熱分解ガス化装置の開発補助事業	5,000
9	北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科	マイクロファイバプローブを用いた微細形状測定機の開発補助事業	10,000
		合 計	39,240

北九州メディアドーム未利用エリアの活用に関するサウンディング調査について

1 調査の目的

北九州メディアドームは平成10年にオープンし、競輪事業のほか大規模イベントなどに活用されてきた。一方、当初計画していた多目的ドームとしての機能を十分には果たせていない面もある。

そこで、未利用エリアの活用に向けて、民間事業者に活用のアイデアのほか参入意向や課題、整備の方向性などについて、様々な意見を聴くサウンディング調査を実施した。

2 調査結果

- (1) 実施期間：令和4年12月～令和5年3月
- (2) 事前説明会参加事業者：14社
- (3) アンケート提出事業者：4社
- (4) 主な内容

【意見】

- ・ 施設内における競輪来場者と一般来場者を明確に切り分けた方がよい。
- ・ 公共交通機関でのアクセスが難しく、施設内は回遊しにくい。
- ・ 全天候型施設、所有駐車場を活かした事業計画が望ましい。 等

【事業案】

活用場所	活用案
アリーナ	・ エアー遊具を用いたアトラクション施設
会議室	・ カルチャースクール ・ ドローン教室
未利用エリア	・ eスポーツのレンタルスタジオ ・ セキュリティを必要とするIT企業・研究機関向け有料施設 ・ 水耕栽培施設

3 今後の対応

11月の競輪祭において、事業案にもある「エアー遊具を用いたアトラクション施設」を試行する。具体的には「恐竜ふわふわ」や「鉄道迷路」、また「子供向けボルダリング施設」を予定している。

今後は、このような事業を試行しつつ、利用者の意向を調査し、施設の有効活用につなげていく。

北九州メディアドームのアリーナ及び会議室の利用状況について

1 アリーナ利用状況（令和5年度）

開催期日	イベントタイトル	入場者数(人)
5月2日	専門学校レクリエーション	100
6月4日	幼稚園運動会	700
6月16日	ステージ設営リハーサル	600
6月18日	JCI キッズチャレンジパーク	3,000
6月23日	中学校マーチング練習	72
6月24日	高等学校マーチング練習	60
7月2日	ボルクバレット北九州公式戦	2,000
7月9日	西日本大学弓道大会	5,000
7月15日	紙飛行機教室（主催：競輪事業課、JKA）	70
7月27日	子ども大工教室（主催：競輪事業課、JKA）	200
8月13日	バンクリーグ自転車イベント	1,500
8月16日	大学フットサル練習	50
8月18日	企業研修	40
9月3日	ボルクバレット北九州公式戦	2,000
9月10日	ボルクバレット北九州公式戦	2,000
9月17日	全国高等学校チームダンス選手権	5,000
9月18日	企業運動会	130
9月23日	幼稚園運動会	1,100
9月24日	幼稚園運動会	700
9月28日	大学レクリエーション	200
9月30日	幼稚園運動会	600
10月1日	町内体育祭	2,000
10月7日	ツール・ド・九州	4,000
10月8日	幼稚園運動会	1,450
10月9日	幼稚園運動会	1,300
10月14日	幼稚園運動会	800
10月15日	幼稚園運動会	1,300

2 会議室利用状況（令和5年度）

開催期日	イベントタイトル	入場者数(人)
4月14日	企業の展示・即売会	30
5月3日	発声セミナー	20
7月5日	会社説明会	50
9月11日	企業の展示・即売会	30
9月27日	発声セミナー	20

一般財団法人 BOATRACE 振興会と本市との関係性について

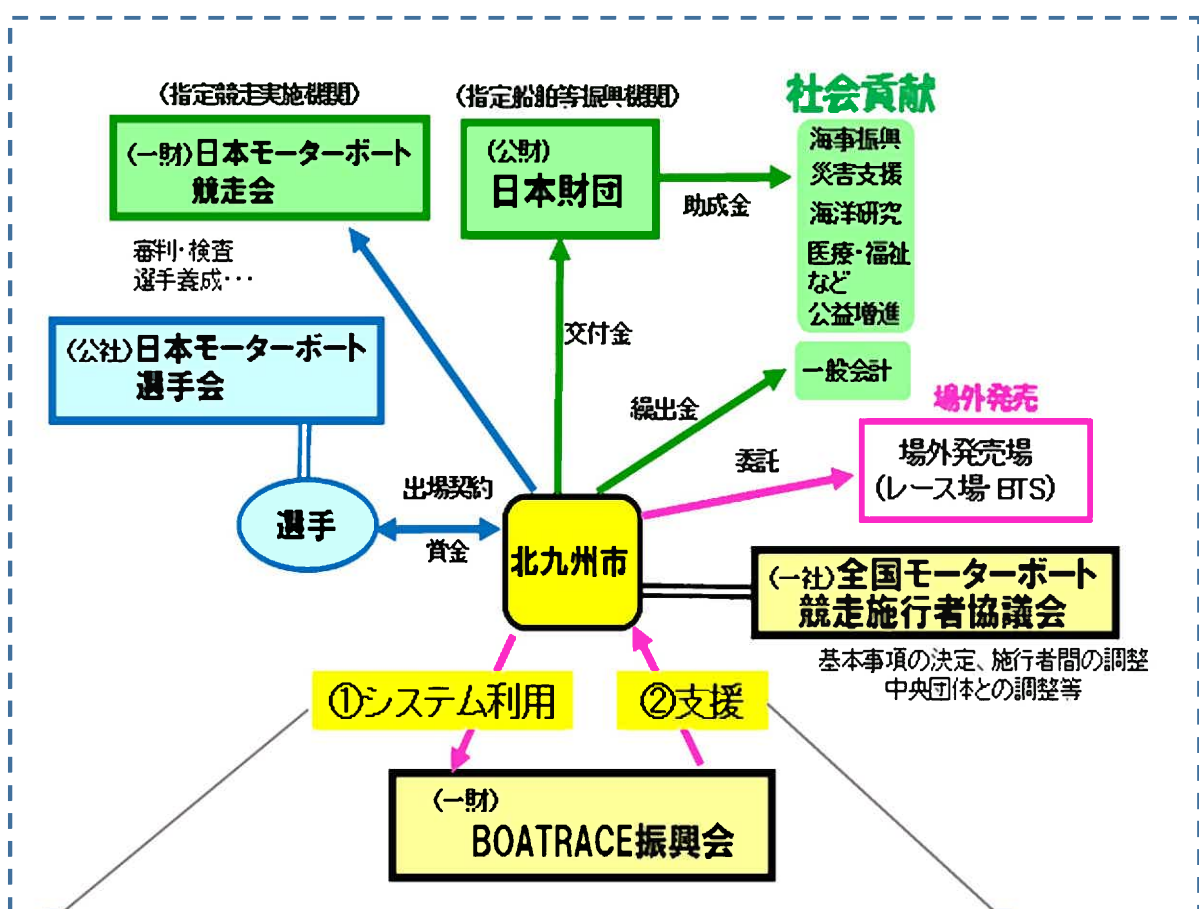
1 一般財団法人 BOATRACE 振興会の概要

ボートレース全体の経営戦略の立案や全国的な広報・宣伝事業、ボートレースに関する情報システムの運営を通じて、ボートレース事業の活性化を推進。

【BOATRACE 振興会の役割】

- ・ ボートレース事業の運営支援
- ・ ボートレースの広報
- ・ 広域発売の促進
- ・ 情報システムの管理運営

2 競走の実施体制における BOATRACE 振興会と本市との関係



①本市は BOATRACE 振興会と「中央情報処理システム利用契約」を締結し利用料を支払う。

※中央情報処理システム

全ボートレース場、全レース、日々の舟券発売に直接関わる発売集計支援など、レース開催における基幹システム

②本市は、BOATRACE 振興会の支援を受け、本場活性化のためのイベントや施設改修などを実施。

- ・ 子どもの職業体験イベントの支援
- ・ ボートレースパーク化に向けた施設改修への支援 など

ボートレース若松地域貢献エリア整備事業について

1 事業目的

ボートレース若松では、老朽化が進む西スタンド棟の大規模改修を契機に、ボートレース若松が保有する施設全体の在り方を戦略的に見直し、地域から必要とされる「ボートレースパーク化」を図ることで、地域へ貢献するとともに、新規ファンの獲得を目指すもの。

2 事業概要

「子どもからシニアまで気軽に楽しめる場所づくり」をテーマに、東スタンド棟前の駐車場約10,000㎡を活用して、子ども向け有料遊戯施設「モーヴィ」、芝生広場「グリーン」及び各種イベント可能な多目的施設を整備する。



3 事業費（概算）

総事業費 1,262百万円

【内訳】 ボートレース事業収益 969百万円
ボートレース振興会助成金 293百万円

※ 事業費はボートレース事業の収益を積み立てて既に確保しており、一般会計繰出金への影響は生じない。

4 事業スケジュール

- 令和4年度 基本設計
- 令和5年度 実施設計
- 令和6～7年度 工事（※令和7年度中に一部供用開始予定）

地域貢献事業・施設関連について

1 クレカ若松について

設置目的	「地域交流の場」「様々な社会貢献活動の場」などを目的に設置
利用概要	・開館日：原則、年中無休 ・貸出対象：団体、グループ、個人を問わない ・貸付料：部屋ごとに金額を設定（時間料金制）
利用実績 （令和4年度）	・利用者数：9,419人（日数：276日、件数：588件） ・主な利用目的：ヨガ、ダンス、会議、研修、セミナー等

2 ボートレース若松 ボルダリングパーク「レッドロック」について

設置目的	場内のにぎわいづくりとファミリー層来場促進を図るとともに、より一層、地域に親しまれるボートレース場となるよう設置。
利用概要	・開館日：土・日・祝日及び夏休み等 ・対象者：幼児から小学6年生までとその保護者 ・料 金：無料
利用実績 （令和4年度）	・利用者数：6,923人（開館日数：248日） ・1日平均：28人

3 ボートレース若松「わかわくらんど」について

設置目的	場内のにぎわいづくりとファミリー層来場促進を図るため、親子等の交流を促進する子育てスペースとして設置。
利用概要	・開館日：土・日・祝日及び夏休み等 ・対象者：子ども（6ヶ月～小学3年生まで）とその保護者 ・料 金：無料
利用実績 （令和4年度）	・利用者数：14,636人（開館日数：248日） ・1日平均：59人

4 子ども食堂「くれかきっちゃん」「どーむきっちゃん」について

実施目的	地域の子どもと大人が安心して過ごせる居場所づくりと公営競技事業の地域貢献・イメージアップのため実施。
実施概要	・実施場所：ボートレース若松と北九州メディアドーム内 ・実 施 日：毎月1回不定期（レース非開催日） ・参 加 費：大人300円、子ども100円（事前申込制）
利用実績 （令和4年度）	・利用者数：1,435人（年間12回） ・1カ月平均：119人